



石鳥谷地域の学校統合検討経過と今後の進め方について

令和8年5月
花巻市教育委員会教育企画課

1. 統合検討に向けて（令和4～6年度）

- 少子化の影響により石鳥谷地域の各小学校においても児童数の減少が進み、複式学級が継続して発生する見込みであることから、これからの教育環境を考えてもらうため、令和4年11月より各小学校や保育施設の保護者会役員を対象とした教育懇談会を延べ10回にわたって開催してきました。
- 教育懇談会において、本市における理想的な学校規模などを示した「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針」や、今後の児童生徒数の見込みなどを説明したところ、参加された保護者から、学校統合を支持する意見が多く寄せられました。
- これを受け、令和7年1月に「石鳥谷地域4小学校の統合に向けた各校PTA打合せ」を開催したところ「石鳥谷地域4小学校を統合する」ことで意見が一致しました。
- 今後、統合後の新しい学校を考えていくうえで、これまでどおりの6・3制の学校とするのか、義務教育学校を含む小中一貫校のどの学校とするのかという学校形態を決める必要がありました。
- そこで、石鳥谷地域4小学校のPTA役員のほかに中学校PTA役員も一緒になって学校形態を検討するため、令和7年5月に「石鳥谷地域学校検討会」を発足して検討を重ねていきました。

○児童数の見通し（R7.5.1時点の状況をベースに試算）

（現状） 令和7年度の時点において、石鳥谷小学校は2学級、八幡小学校は1学級、八重畑小学校は1学級、新堀小学校は1学級で、4小学校で5学級となっている。

小学校名	R7						R8						R11						R15						R17					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
石鳥谷	47	57	32	49	39	48	27	47	57	32	49	39	49	30	43	27	47	57	38	41	35	24	49	30	34	36	38	41	35	24
八幡	12	24	27	9	21	24	13	12	24	27	9	21	14	13	22	13	12	24	12	13	13	14	14	13	10	11	12	13	13	14
八重畑	10	10	17	12	11	16	9	10	10	17	12	11	7	5	10	9	10	10	4	4	5	7	7	5	4	4	4	4	5	7
新堀	8	8	12	10	18	7	8	8	8	12	10	18	5	3	6	8	8	8	4	4	5	5	5	3	4	4	4	4	5	5
学年計	77	99	88	80	89	95	57	77	99	88	80	89	75	51	81	57	77	99	58	62	58	50	75	51	52	55	58	62	58	50
全校計	528						490						440						354						335					
学級数	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	2	3	2	3	3	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2

複式学級を想定 単位：人、学級

2. 石鳥谷地域学校検討会の検討の状況（令和7年度）

- 第1回（R7.5月）、視察（R7.6月）
地域の現状、様々な学校の在り方について
★石鳥谷地域4小学校での「教育懇談会」の開催状況
★視察
大槌町大槌学園（義務教育学校）
紫波町立紫波東学園（施設一体型小中一貫校）
- 第2回（R7.7月）熟議
育てたい子どもの姿
- 第3回（R7.9月）熟議
望ましい学校の姿
①挑戦する子
②思いやりのある子
③助け合う子、命を大切にす子
- 第4回、第5回（R7.11月）
地域にふさわしい学校の検討
4つの小学校及び中学校から各学校の特色ある教育活動を紹介していただきました
- 中間報告会（R7.12月）
学校統合の検討状況について
第5回までの検討会の状況を多くの保護者の皆さんへお知らせしました
- 第6回、第7回（R8.1・2月）
小学校統合で考えられる学校形態・地域にふさわしい学校の検討
参加した委員の皆さんから学校形態についての意見を述べていただきました

各学校
施設の
現状

小学校名		石鳥谷	八幡	八重畑	新堀
R7 の 状 況	児童数	272人	117人	76人	63人
	学級数	15	8	7	7
	保有教室数	22	9	9	8
	設置 (築年数)	S54 (築46年)	S56 (築44年)	S58 (築42年)	S63 (築37年)

◎検討状況を踏まえた教育委員会の統合への考え方

1. 複式解消の観点から早期に検討を進めること
石鳥谷地域では、令和8年度に新堀小学校、令和11年度に八重畑小学校で複式学級となる学年があるほか、令和15年度には2校の全学年が複式学級になると見込まれるため
 2. 近い将来、小学校校舎（屋内運動場等含む）の施設整備を実施しなければいけないこと
ほとんどの小学校校舎が築40年を経過し老朽化が進み、ひいては児童の安全な学習環境の確保が難しくなるため、施設の老朽化対策の面からも学校の在り方を検討しなければならないため
- 【留意事項】
- 上記2点が早期に小学校統合を検討する大きな理由であり、遅かれ早かれ施設整備の実施時には少なからず児童・生徒や教員等への相応の負担が伴うことが想定されることから、以下の4点を踏まえて、ふさわしい学校形態を検討いただきたいもの
- ① 学校施設整備にあたっては、新たに用地取得する考えはないこと
 - ② 統合が児童・生徒や教職員の過度な負担とならないよう、段階的な統合はなく1回で4小学校を統合すること
 - ③ 施設整備にあたっては、市の財政状況を踏まえ、国等の補助金を最大限活用するとともに、児童生徒数の長期的な見通し（10年単位）を踏まえた合理的な施設整備とすること
 - ④ 統合場所については、通学時に児童の過重とならないような距離や通学方法とすること

3. 地域・各地区への検討状況の説明（令和8年度）

石鳥谷地域学校検討会は、令和7年度末を迎えての検討会参加者の負担や地域の方々への早期の情報提供を考慮した結果、第7回をもって終了することとしました。

最終回となる第7回の検討会では、学校の設置場所について参加した多くの委員が「石鳥谷中学校の敷地内を望む」意見でありましたが、学校形態については従来の6・3制の小学校、6・3制を維持した中学校施設隣接型の小中一貫校または施設一体型の小中一貫校、従来の6・3制に固執しない義務教育学校のような新しい仕組みの導入という意見があったことから、学校形態については今後の検討課題となりました。令和8年4月には、各地区コミュニティを通じた概要説明や、石鳥谷地域にお住いの皆様を対象とした説明会を実施しました。

- 4月10日（金）18：30 八幡振興センター 八幡地区住民（八幡まちづくり協議会総会時）
- 4月16日（木）18：30 八日市振興センター 八日市地区住民（八日市地区コミュニティ会議総会時）
- 4月17日（金）18：00 大瀬川振興センター 大瀬川地区住民（大瀬川活性化会議総会時）
- 4月19日（日）15：30 新堀振興センター 新堀地区住民（新堀地区コミュニティ会議総会時）
- 4月21日（火）18：30 八重畑振興センター 八重畑地区住民説明会
- 4月23日（木）18：30 好地振興センター 好地地区住民（好地地区まちづくり委員会総会時）

●4月30日（木）18：30 石鳥谷生涯学習会館 石鳥谷地域住民説明会

4月23日までの地区説明会は、各地区コミュニティを通じて総会時などを利用した概要説明となりましたが、30日の地域全体を対象とした説明会では50名の参加をいただきました。説明会では詳細な説明を行い、参加者の方々からは統合前提に様々な意見や質問が寄せられたところです。

意見や質問の主なものとしては、「石鳥谷小学校を長寿命化する場合、周りの道路がすごく狭いので登下校の安全も考えてほしい」「小学校・中学校の区切りの中で子供の成長を実感したので、小学校6年・中学校3年という区切りを残してほしい」「今後の検討組織はどのような基準でいつ頃立ち上げ予定か」「学校形態が決まったとして、最速で具体的に何年頃に統合できそうなのか」「小学校を改修する場合と中学校を改修する場合の費用は概算でどうなのか」「中学校が浸水想定区域となっていることについてはどのような評価をしているか」などのお話をいただいたところですが、参加者からは学校統合に対しての反対意見がなかったことから、今後も地域の皆様へ情報提供し、これまでの検討会及び地域からの意見を踏まえ、新たな検討組織を立ち上げ学校形態の決定に向け協議を進めていきます。